

みんなで守ろう、私たちのまち 境川の水害対策

道路河川課 ☎32-8020 FAX34-4429

梅雨の季節になりました。近年は気候変動の影響により、ゲリラ豪雨など短時間に大量の雨が降る現象が増え、水害による甚大な被害が増えています。今回は、本市が取り組んでいる水害対策について特集します。

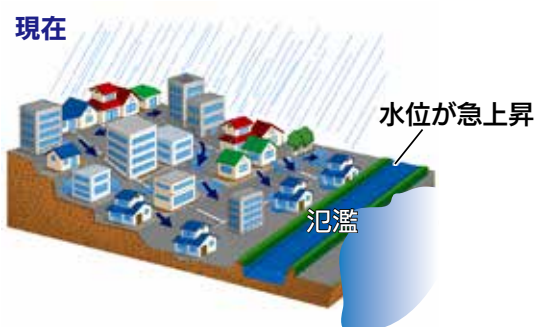
なぜ水害が起きやすくなったの？

境川の周りでは、まちが発展して建物や道路が増えたため雨が地面へ染み込みにくくなり、大雨のときに川の水位が急に上がりやすくなっています。

以前



現在



平常時の境川



氾濫時の境川(2012年8月)

対策 これまでとこれから

これまで

昭和57年から令和3年まで、都市部を中心とした総合治水として以下のような対策をしてきました。

- 川の幅を広げる
- 雨水をためる施設をつくる
- 避難体制を整える
- 田畑やため池を守り、雨水をコントロールする

これから

新しい考え方「流域治水」

「流域治水」とは、都市部以外の氾濫流域全体で協力して水害に備える仕組みのことです。

令和4年に県・市町・河川管理者などが連携した境川・猿渡川^{さわたり}※流域水害対策協議会がスタート

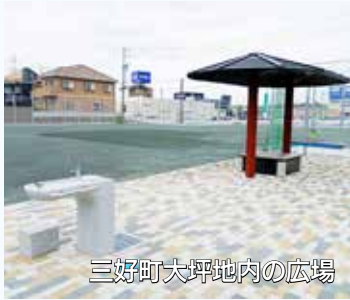
※豊田・安城・知立・刈谷市を流れる河川で、本市には接していないが水域に属している

以下の4つの柱を中心に、より安全で安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

- 1 流域の状況を見守る
→ 変化を予測して対策を考える
- 2 水害に強い仕組みをつくる
→ 浸水を減らす工事や対策を進める
- 3 計画的に進める
→ 水害対策の計画を立て、進み具合をチェックする
- 4 みんなで考える
→ 水害への備えを地域の人に知ってもらい、協力を広げる

自治体・企業・地域
全員で水害対策！

本市は境川の最上流に位置しており、下流の地域の安全を守ることは大切な使命です。雨水が短時間で一気に川へ流れ込まないように、流入量を抑制することが重要で、その対策の一つが市街地の地下などに整備した地下調整池ちようせいちです。ここへ水をためることで川へ流れ込む水の量を調節し、急な水位の上昇をダムのように防ぎ、下流への負担を減らします。



三好町大坪地内の広場



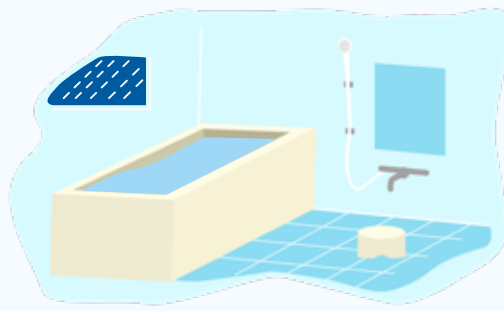
広場の地下(地下調整池)



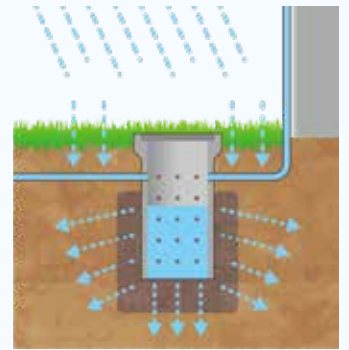
皆さんの協力が大切です



雨水をためて、浸水被害を抑える田畑を積極的に保全していきましょう。



風呂のお湯を降雨時に排水することは避けましょう。



新たに下水道に接続する時は、家庭の浄化槽を雨水貯留浸透施設へ転用しましょう。

雨水貯留タンク設置に補助金を交付します

雨水の有効活用を図ることで、河川などへの急激な雨水の流出を抑制し、洪水や浸水被害を軽減することを目的に、家庭用の雨水貯留タンクの設置に補助金を交付します。

対象 市内在住で市税の滞納がなく、住宅(店舗などの併用住宅を含む)に雨水貯留タンク(地上据え置き型で、貯水容量100リットル以上の市販されている未使用品)を設置する人

※補助は、当該年度につき1世帯当たり1基までです。

補助 雨水貯留タンク設置に係る材料費・設置費の2分の1(1,000円未満切り捨て、上限2万円)

申込 購入前に、申請書(市役所4階 道路河川課で配布、ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、道路河川課へ直接



ホームページ



雨水タンク



流域治水パネル展

流域治水の理解を深めていただくために、図や写真を用いたパネルを展示します。

期間 6月5日(金)～11日(木)

場所 市役所1階 南玄関

安心して暮らせるまちづくりのため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。